

洞ヶ瀬さん：この夏は、自分達で食べられる様に10種類以上の野菜を近所の人にも教わりながら作りました。今後は、移住者をもっと呼び込めるようにワークショップを開いたりして地域を盛り上げていきたいです。

小川さん：「農業」をしながら「地域の困っている人のお手伝い」もしています。三和町は高齢化が進んでおり、お年寄りにとって力仕事や大量の買い物などは一苦勞です。庭の大きな石を運んだり、購入した日用品を家まで代わりに軽トラで運んだりとお手伝いは様々ですが、地域の人が喜んでくれ、自分を頼ってくれることが嬉しいです。時には、「話し相手をしてほしい」と言われて呼ばれることもあります(笑)。今後も三和町とずっと関わっていきたくらいなと考えています。

■「都会の人!田舎での暮らしを一度は体感してほしい!」(小川さん)

-移住を考えている人に一言お願いします。

鈴木さん：「考え過ぎず、とりあえず行ってみる!」最初で最適な移住地に巡り合えるとは限りません。だからこそ、あまり考え過ぎずに行動することも時には必要です。

洞ヶ瀬さん：行政の移住サポート制度を活用し、移住に積極的な自治体・地域かどうかを調べたり、イベント等に行ったりして、自分に合っているかを知ることも重要だと思います。

小川さん：「やりたいことがない人ほど飛び込んでみるべき!」だと思います。自分がそうであった様に、行動すれば何かやりたいことが見つかるかもしれません。都会での暮らしに違和感のある人は、田舎での暮らしを一度は体感してほしいです。



#地域行事「野点の会」



#裏山で栗拾い



#農ある暮らし



#井戸水で即席プール

発行：移住定住サポートセンター（福知山市まちづくり推進課）

福知山 ふくふくライフ

検索

京都・福知山

Iターン

農業



移住物語 ～先輩移住者が友達を連れて来た!～

鈴木 恒平さん (Suzuki Kohei)

29歳 / 福知山市三和町上川合在住 / 兵庫県尼崎市出身 / ※写真中央

洞ヶ瀬 圭さん (Dougase Kei)

30歳 / 福知山市三和町上川合在住 / 兵庫県尼崎市出身 / ※写真左

小川 弘晃さん (Ogawa Hiroaki)

30歳 / 福知山市三和町上川合在住 / 兵庫県尼崎市出身 / ※写真右



福知山移住WEBサイト
FUKUFUKU LIFE



#仲良し3人



#お試し住宅

ふくふく暮らし
しな人々

VOL
26

令和元年(2019年)
10月発行

「ふくふく暮らしな人々」は、福知山へ移住された方の福知山での暮らし（ふくふく暮らし）を紹介しています。



【鈴木恒平さん・洞ヶ瀬圭さんのプロフィール】

兵庫県尼崎市出身。大阪のゴミ拾いボランティアを通じて出会い、その後パートナーとなった2人。長野県で登山ガイドや北アルプスの山小屋勤務などを経験した後、オーストラリアやニュージーランドの様々な農園で農業を学ぶ。海外生活で日本の食・文化の良さを再発見し、「農ある暮らし」を実現するため帰国。2018年に三和町上川合へ移住。



【小川弘晃さんのプロフィール】

兵庫県尼崎市出身。鈴木さんとは中学校からの同級生。学生時代は、ラグビー部。30年間地元で都会の生活を過ごしていたが、鈴木さんとの再会をきっかけに2019年よりお試し住宅に応募し入居。2019年より三和町上川合で田舎の生活を送っている。

■都会での暮らしが自分に合っているかを自問自答していました。(小川さん)

-移住のきっかけ、福知山を選んだ理由は何ですか？

洞ヶ瀬さん：「実家にも帰りやすい距離間」という軸から関西の農山村地域で移住先を探していました。そんな中、福知山に知人がいたこともあり、福知山に興味を抱くことに。FUKUFUKU LIFEのホームページは情報も見やすく、移住に関することや福知山の暮らしがよくわかり、とても魅力的で親しみやすく感じました。

鈴木さん：当時、お試し住宅の募集開始時期でもあり、「これは行かないと!」との思いで応募し、圭ちゃんと2人で福知山での生活を始めました。

小川さん：都会に30年間住み続け、都会での暮らしが自分に合っているのかを自問自答していた頃、約10年振りに鈴木君とこの上川合で再会を果たしました。鈴木君の家に1か月間滞在しながら田舎で生活をしたことをきっかけに田舎での暮らしに共感するように。もっとここで過ごしたいという思いが強くなり、お試し住宅に応募しました。

■「ちょうどいい」(洞ヶ瀬さん)

-福知山に移住して感じたことはありますか？

洞ヶ瀬さん：「ちょうどいい」その1言で表現できます。都市部への交通アクセスも良く、「田舎に暮らしたい。都会に遊びに行きたい。」の両方を叶えてくれるところなんです。

鈴木さん：今住んでいる三和町は、車の交通量も少なく、空気もきれいでホッとしますね。地域の人は優しく面白く、地域行事に参加した際もずっと笑顔でいら



#川合の風景1



#川合の風景2

れます。「草刈りさえも面白い」と感じるほど楽しい場所です(笑)

小川さん：「地域の人が優しくて、よく笑う」と感じましたね。お試し住宅に入居した初日から地域全体で移住者を受け入れようというのが伝わりました。入居翌日には、地域の人のつながりで農業の仕事が用意されていましたからね(笑)。地域のイベントに飛び入り参加した時は、打ち上げまで誘ってもらい地域の一人として歓迎されていることが嬉しかったです。

■「自然に寄り添って自由に生きている」(鈴木さん)

-現在の活動を教えてください。

鈴木さん：今は空き家バンク制度を通じて借りている古民家を理想の住居にできるように住環境を整えています。農業の閑散期である冬場は、スキー場併設のカフェでバリスタとして働いています。「自然に寄り添って自由に生きている」という実感があります。



#脱穀機で麦踏み



#住み始めた古民家



#梁に溜ったすす汚れを掃除中